

第5学年〇組 国語科学習指導案

- 1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう
「わらぐつの中の神様」

2 単元の展開にあたって

(1) 学年の子どもの実態

本学級の子どもたちは、1学期に「新しい友達」で現在・過去・現在という構成をとらえ、人物の会話に着目しながら登場人物の心情を読む学習を経験している。その中で、いくつかの叙述からその時々的人物の心情を読むことはできるようになってきてはいるものの、それらをつなげて考え方の変容を読むところやめあてに沿って自分なりの読みをまとめることまでは十分に身につけていない。読み取りに関しても、直感的なものにとどまり、叙述に即して細かい点まで注意して読み取るうとする子が少ない。また、語彙が足りずに自分の気持ちや考えをうまく表現できず、発表を躊躇したり友達とトラブルを招くことも見受けられる。自分の考えをもつという面でも、何を手掛かりに考えていいのかが迷ってしまい、自分の考えをもつことができない子が多い。また、自分の考えがもてても、間違えたら恥ずかしいという理由や、失敗を指摘されることを不安に感じ、発表へとつながらないために全体での意見の交流が十分に深まらない。

そこで、書き込みや話し合いの学習を取り入れながら叙述を丁寧に読む学習を繰り返し、文章の構成をとらえ、人物の心情や考え方の変容を表現や叙述と関係づけてとらえる読み方を身につけさせるとともに、自分の読みをより確かなものへと高め物語を意欲的に読み深めようとする態度を育てることが今後の課題であるとする。

(2) 教材のよさ

本教材は、わらぐつや神様に対して「みったくない」「そんな迷信でしょ」と言っていたマサエが、おばあちゃんの想い出話を聞き、相手を一心に思って真心を込めることを大切にしてきたおばあちゃんの生き方に触れ、感動することで変容していく姿を描いた作品である。全文が一行空きによって、「現在 - 過去 - 現在」の3つの場面からなり、過去のおばあちゃんの昔語りを、前後のマサエの姿で包みこむ構成となっている。過去の部分には、おみつさんの考え方や人柄が行動や会話の中に分かりやすく表されているため、児童は、その考えを読み取りやすいだけでなく、おみつさんの人柄に好感をもち、おみつさんの心に寄り添って読み進めていくことができると考える。また、現在の部分には、はじめとおわりのマサエの言動の違いが分かりやすく表されているため考え方の変容がとらえやすくなっている。そのため人物の考え方を表現や叙述と関係づけて読む力を付けるのに適していると考えられる。おばあちゃんの昔語りを聞いてその姿に感動するマサエの姿を読み取ることで、マサエと同じように、人や物についてこだわったり、一面的に見始めてしまったりするこの時期の児童には、まわりの人物への見方や自らの考え方を振り返っていく上で意義深い教材である。

(3) 学習内容と指導・支援の考え方

本単元の指導にあたっては、まず、題名と冒頭でおばあちゃんとマサエの考え方の違いが表れている言動に着目させ、おばあちゃんが昔語りを始めようとしたきっかけを問う全体のためあてを作らせる。次に、読みのめあてに沿って全文を読み通させ、現在・過去・現在という構成になっていることや最後におみつさんと大工さんがおばあちゃんとおじいちゃんだった仕掛けに気付かせ、読みの答えをまとめさせる。その後、めあてに対する自分なりの答えを交流し、おみつさんと大工さんの人や物の見方・考え方、二人の生き方、マサエの考え方の変容を読み確かめていく視点として学習していく計画を立てる。

読み深めでは、おみつさんと大工さんの言動や中心文から、おばあちゃんが伝えたかったことが人や物を外見で判断せず気持ち大切にすることと一生懸命に取り組むことの大切さ、そして現在もその考えをお互いにもち続けている二人の生き方を読み確かめていく。マサエの変容については文章構成に着目し、昔語りの前後のマサエの言動との対比と昔語りでの二人の考え方や今もその気持ちを大事にもち続けている生き方に心を打たれたマサエの考え方の変容を読み取らせる。

最後に、はじめにつくった読みを振り返らせ、読み深めて作った自分の読み取りの深まりを捉えさせる。そして、自分のものの見方や考え方を見つめさせ、どんなことを大切に生きていきたいと思ったかを考えさせて読みをまとめさせ、本単元の学習で身に付けた読み方をまとめさせる。

3 単元の目標

おばあちゃんがマサエに伝えたかった相手のことを考えて真心を込めて生きる姿やマサエの変容を読み取ることができるようにする。

文章構成の工夫に着目したり、場面と場面をくらべたりすることによって、書き手の伝えたいことをとらえる読み方を身に付けることができるようにする。

4 学習計画（全12時間）

段落	主な学習活動と内容	指導上の留意点
か ま え る	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p style="text-align: center;">単元名，題名，冒頭から，読みのめあてをつくろう。</p> <p>2 単元名について話し合う。 人物の考え方，生き方とはどんなものか考える。</p> <p>3 題名から内容を予測し，疑問を話し合う。 ・ 神様とはどんなものだろう</p> <p>4 冒頭を読み，マサエとおばちゃんの考え方の違いを読み取る。 (1) 時，場所，登場人物を確認する。 (2) マサエとおばあちゃんの，わらぐつに対する考え方の違いを比べる。 マサエの言動から，考え方を読み取る。 ・「みったぐない」「そんな迷信でしょ」 おばあちゃんの言動から，マサエに何か伝えたい気持ちを読み取る。 ・「正真正銘」「なじめな顔」「それじゃあ，ひとつ～。」</p> <p>5 題名と冒頭をつないで，読みのめあてを作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>読みのめあて わらぐつの中に神様のいなくなった話で，おばあちゃんはマサエに何を伝えたかったのだろう。 マサエはおばあちゃんの話聞いてどう変わったのだろう。</p> </div>	<p>単元名から，この単元で学習していく構えをもたせる。</p> <p>題名を読んで，疑問に思うことや，どんな話を話し合う。 「神様」という言葉に着目させ，神様とはどんなものか，わらぐつにどんな神様がいるのかという課題意識をもたせる。 「雪がしんしんと」「こたつ」「スキー」などから場の設定をとらえさせる。</p> <p>「やだぁ」「みったぐない」「神様だって」「迷信でしょ」という自分中心のマサエの言葉に着目させる。 おばあちゃんが「まじめな顔になって」話そうとしているのはなぜか考えさせ，何かマサエに分かってほしいことがあるのだろうと言うことに気付かせる。</p>
	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p style="text-align: center;">全文を読み，読みのめあてに対する答えを書こう。</p> <p>2 全文の範読を聞く。</p> <p>3 音読の練習をする。</p> <p>4 難語句・新出漢字について調べる。</p> <p>5 文章構成とあらすじをまとめる。</p> <p>6 読みのめあてに対する自分の考えを書く。 答えとその根拠となる文を見つけながらまとめる。</p>	<p>難しい言葉，分からない言葉について確認する。</p> <p>ハッキリした声ですらすら音読できるようにさせる。</p> <p>一行空きに着目させ，「現在 過去 現在」という文章構成をとらえさせる。 文章構成をとらえやすいように，あらすじを書きまとめる。</p>

かまえる	4	1 本時のめあてを確認する。	
	5	読みのめあての答えを話し合い，学習計画を立てよう。	
	/ 12	2 読みのめあての答えを話し合う。 答えの相違点を整理し，これから何を読み確かめていくのかの視点をはっきりさせる。	
		<p style="text-align: center;">予想される読みのめあての答え</p> <p style="text-align: center;">おばあちゃんは，人やものに対して見かけで見ずに，大切にできる心が大事なことだと伝えたかった。 マサエは，神様がいることを信じるようになった。</p>	
		3 各場面での中心となる文や疑問点を見つけ，学習計画を立てる。 読み確かめていく視点	おばあちゃんの言う「神様」という言葉の意味から，その指すものがおみつさんと大工さんの考え方を表していることを確認し，読み確かめていくめあてとする。 おばあちゃんが昔話から数十年たった今でも相手に対する思いを大切に思っていることに気付かせ，二人の生き方を読み確かめていくことをめあてとする。 おばあちゃんの話を書く前と聞いた後のマサエの言動から，マサエの考え方の変容を読み確かめることを確認する。
		<p style="text-align: center;">読み確かめていく視点</p> <p style="text-align: center;">おみつさんと大工さんの人やものに対する考え方を読み確かめる。 おばあちゃん，おじいちゃんの生き方を読み確かめる。 マサエの考え方の変容を読み確かめる。</p>	
ふかめる	6	1 本時のめあてを確認する。	
	7	おばあちゃんがいう「神様」とは何か，おみつさんや大工さんの考え方をもとに読み確かめよう。	
	/ 12	2 昔話の場面を音読する。	昔話の場面を音読し，おみつさん，大工さんの言動の叙述とそこから分かる二人の考え方について書き込みをさせる。
		3 自分の読み取りをまとめる。	
		4 読み取ったことを話し合う。 (1) 自分たちで読み取ったことをもとに，グループで話し合う。 (2) グループで話し合ったことをもとに，全体で話し合う。 おみつさんと大工さんの言動をもとに，それぞれの考え方を話し合う。 ・はく人が～ ・しっかりしっかり～ ・いい仕事ってのはな～ おみつさんと大工さんと共通している考え方について話し合う。	グループで読み取りの相違点を話し合い，おみつさんの考え方についてまとめる。 おみつさんが，どんな場面でも自分ではなく，相手のことを考えて行動していることに気付かせる。 大工さんがものは見かけではなく，相手の身になって考えることを大事にしていることに気付かせる。 おみつさんと大工さんの共通した考え方から，おばあちゃんが伝えたかったことについて書きまとめさせる。
		5 本時の学習のまとめをする。	

8 ・ 9 / 12	1 本時のめあてを確認する。	
	<p>おばあちゃんが、「いい話だろ。」とマサエに自慢しているのはどんなことか読み確かめよう。</p>	
	2 昔話，現在 の場面を音読する。	昔話の場面を音読し，お御津さんの言動の叙述とおばあちゃんの生き方について書き込みをさせる。
	3 自分の読み取りをまとめる。	
	4 読み取ったことを話し合う。	
	(1)自分たちで読み取ったことをもとに，グループで話し合う。	グループで話し合い，読み取りの相違点を話し合い，おみつさんの考え方についてまとめる。
	(2)グループで話し合ったことをもとに，全体で話し合う。	
	一行空きの所から 数十年の時間の経過	一行空きに注目させ，昔話から現在までの時間の長さに気付かせる。
	現在 の場面から 雪げたに対しての二人の思い	おばあちゃんたちが現在でも，おみつさんと大工さんと同じ考えであることに気付かせる。
	5 本時の学習のまとめをする。	
10 ・ 11 / 12	1 本時のめあてを確認する。	
	<p>おばあちゃんの話聞いて，マサエのものや人に対する考え方がどう変わったかを読み確かめよう。</p>	
	2 現在 の場面を音読する。	現在 の場面を音読し，マサエの言動の叙述とマサエの考え方について書き込みをさせる。
	3 現在 と現在 のマサエの言動を比べながら書き込みをする。	
	4 書き込みをもとに，マサエの考え方の変容について話し合う。	
	(1)自分たちで読み取ったことをもとに，グループで話し合う。	グループで話し合い，読み取りの相違点を話し合い，マサエの考え方についてまとめる。
	(2)グループで話し合ったことをもとに，全体で話し合う。	
	マサエが，おばあちゃんが伝えたかったことをどう受け止めているのかを話し合う。	マサエの言葉から，マサエがおばあちゃんの考え方を受け止めていることに気付かせる。
	・「～この雪げたの中にも～」	
	おばあちゃんとおじいちゃんの生き方から，マサエがどう変わったのかを話し合う。	マサエの変容が，おばあちゃんの昔語りだけではなく，その考えをもって今も生き続けている二人の生き方にも影響を受けていることに気付かせる。
	・赤いつま皮の雪げたをかかえたまま～。	
	5 本時の学習のまとめをする。	
12 / 12	1 本時のめあてを確認する。	
	<p>「わらくつの中の神様」を読んで，読みのまとめをしよう。</p>	
	2 これまでの学習を振り返り，まとめをする。	
	読みのめあてにもどり，おばあちゃんがマサエに伝えたかったことをまとめる。	
	自分の生活を振り返り，学習して生きた人物の考え方や生き方と比べながら，自分の考え方や生き方についてまとめる。	マサエの変容を自分と重ねて感想を書きまとめさせる。
	この学習で学んだ読み方のまとめをする。	どんな読み方をしてきたのか振り返らせる。

ふかめる
(本時)

まとめる

5 本時 (11 / 12) 読み確かめ

6 本時目標

わらぐつの中に神様ががいるという考え方やそこから分かる祖父母の生き方や考え方に対するマサエの尊敬する気持ちの変容を読み確かめることができる。

「現在1」と「現在2」の場面を比べながら文末表現に着目する読み方やマサエの心情が表現された文中表現のちがいに目を向けることができる。

7 本時指導の考え方

子ども達は事前に、「場面と場面を比べて読む」の読み方を生かせば、マサエの気持ちがどのように変わったのか分かるのではないかということに気づき、「現在1（一の場面）」と「現在2（三の場面）」を比べ、マサエの言動に絞って書き込みを行っている。

そこで本時ではまず、学習計画と書き込んだ箇所から本時のめあてを確認し、子どもの発表から話し合いの見通しをもつことができるようにする。

次に、マサエの神様に対する考え方の変容を話し合う。「この雪げたの中にも神様がいるかもしれないね。」の「ね」という文末や「にも」という言葉に着目させ、マサエがわらぐつの中だけでなく、雪げたの中にも神様がいるということを信じていることを読みとったあと、グループで雪げたの中の神様について話し合う。

その後、祖父母の生き方にも目をむけさせる。また、「一の場面ではマサエは何と言っていたのですか。」と問い、文末に着目して場面を比べることで、一の場面では祖母の話真剣に聞こうとはせず“人を思う心のよさ”に気付いていないマサエが、祖母の伝えなかったことを受けとめ、物に込められた人の心に気づき大切にしようとする気持ちに変容したことを読み取らせたい。

また、マサエが誰を見直したのかについても話し合う。マサエが「・・・いるかもしれないね。」と祖母への思いやりを示すだけでなく、「おかえんなさあい。」と祖父を出迎える姿を一の場面と比べてとらえることができるようにする。「『かかえたまま』を『持って』、『飛び出して』を『出て』と比べることでマサエのどんな気持ちが変わりますか。」と問い、似た言葉を比べさせる。そうすることで、マサエが「この雪げたの中にも・・・」の箇所で雪げたをかかえてることに気づき、かびくさいにおいがしていた雪げたをかかえたまま祖母と会話をし、祖父を出迎えに行くという姿を読み取ることができるようにしたい。

さらに、祖父をどのように見直したのかについて話し合う。「玄関でマサエはおじいちゃんに何と言うのでしょうか。」と問うことで、「すごいな。」「えらいな。」「尊敬するな。」というマサエの心の変容を明らかにしたい。

本時のまとめにおいては、似たような言葉と比べて読んだことや場面を比べて文末表現を読んだことでマサエの祖父母への気持ちの変容が明らかになったことを確認し、学習プリントに記入させて定着を図る。最後に、一人ひとりが読み取った内容とその根拠を文章表現させることで自分の読みが広がったり深まったりしたことを明らかにしたい。

8 板書計画

人物の生き方や考え方をとらえよう
めあて
わらぐつの中の神様 杉みき子

おばあちゃんの話聞いて、マサエのものや人に対する考え方がどう変わったのかを読み確かめよう。

「ふうん、だぼおじいちゃんがおばあちゃんのためにせつせと働いて買ってくれたんだから、この雪げたの中にも神様がいるかもしれないね。」

雪げたの中の神様
挿し絵
わらぐつの中の神様：相手のことを考える気持ち・心

マサエは、赤いつま皮の雪げたをかかえたまま、もつて「この寒いのに。」とみんなに笑われながら「おかえんなさあい。」とさげんで、言っ「げんかへ飛び出していきました。」と出て

読みのまとめ
マサエは、おばあちゃんの話聞いて、わらぐつだけでなく、雪げたの中にも神様がいると信じるようになった。そして、おじいちゃんを尊敬するようになった。

主な学習活動と内容	指導上の留意点と評価()
<p>1 本時の学習のめあてと本時の学習の進め方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>おばあちゃんの話聞いて、マサエのものや人に対する考え方がどう変わったのかを読み確かめよう。</p> </div> <p>自分の考え(予見)を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わらぐつの中の神様を信じるようになった ・雪げたの中にも神様がいるのを信じるようになった ・人の気持ちがわかり、「みったぐない」と言わなくなった <p>2 前時の書き込みをもとに、マサエのもの(雪げた・わらぐつ)や人(祖父母)に対する考え方が変わったかどうかを話し合う。</p> <p>(1) マサエの思う「神様」とは何かをグループで話し合い短冊に書いて発表する。</p> <p>(2) マサエのおじいちゃんに対する見方や考え方がどう変わったのか、叙述を基に考える。根拠となった叙述を似たような言葉と比べたり動作化したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかえたまま もって ・さけんで 言って ・飛び出して 出て <p>3 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本時で使った読み方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文末表現を読む ・場面を比べて読む ・似た言葉と比べて読む <p>(2) 話し合いを通して確かになった自分の考えを書きまとめる。</p> <p>まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>マサエは、おばあちゃんの話聞いて、わらぐつだけでなく、雪げたの中にも神様がいると信じるようになった。そして、おじいちゃんを尊敬するようになった。</p> </div>	<p>前時の書き込みに目を通してカルテにとり、話し合いの展開を組み立てておくことで、めあてに沿った読み確かめができるようにする。</p> <p>予見を再度確認し、自分のはじめの読みがどの考えか位置づけることができるようにする。</p> <p>既習を振り返りながら、中心文に出てくるマサエのいう「神様」とは何のことかについて話し合わせることで、雪げたに込められたおじいちゃんへの気持ちに気付くことができるようにする。</p> <p>前時の書き込みをもとに、自分の考えをグループの中で伝えることができる。</p> <p>「この雪げたの中にも神様がいるかもしれないね。」の「にも」や「ね」という表現や「あら、きれいだ。かわいいね。」の言葉遣いの違いに着目させ、一の場面とのマサエの言動を比較し、物と人に対する考え方の変化を読み取ることができるようにする。</p> <p>叙述をもとに雪げたに込められた祖父母の思いをとらえている。</p> <p>「『かかえたまま』を『かかえて』と比べるとマサエのどんな様子が分かりますか。」と問い、似たような言葉を比べることでマサエの雪げたをかかえる様子から祖父母への思いをとらえることができるようにする。</p> <p>「飛び出して」と「出て」や「さけんで」と「言って」という似た言葉を比べ言動の変化を読み取ることで、マサエが祖父母を「すごいな」「尊敬するな」と見直していることをとらえることができるようにする。</p> <p>始めの場面との叙述の違いを読み取り、おじいちゃんへの言動の変容を読み取ることができる。</p> <p>「文末表現を読む」とマサエの相手への気持ちが読み取れ、「場面を比べるとマサエの相手への気持ちの変化もわかったこと」「似たような言葉と比べて読む」とマサエ様子から読み取れる内容に広がりが出たことを確認できるようにする。</p> <p>学習プリントに今日読み取った内容を書くことで、自分の読みが話し合う前と比べてどう広がったり深まったりしたのか明らかにして書きまとめることができるようにする。</p> <p>本時の話し合いで確かになった自分の読みをプリントに書きまとめることができる。</p>